

豊かな流域を守り育てるために

生物多様性流域対話

奥山の森に源を発する揖斐川・長良川等の河川は、私たちに飲み水を与え、田畑を潤しつつ、さまざまな生き物の命の源となっています。やがて伊勢・三河湾に注ぎ込む命のつながりの中で、私たちは、流域の生物多様性の恵みを受けながら、暮らしを営み、文化や伝統を育んできました。

しかし、急激な都市圏の拡大による緑地の減少、人工林や里地里山の管理放棄、河川の水量の減少や水質汚濁、河畔林や湿地、干潟・藻場・自然海岸の減少等によって、流域内のつながりが失われ、私たちに多くの恵みを与えてくれる生物多様性が失われようとしています。

生物多様性の保全と持続可能な利用を推進しつつ、流域を保全・再生するためには、どうすればよいのでしょうか。皆さんと一緒に考えます。



日時／平成23年2月20日（日）13：00～17：00

場所／じゅうろくプラザ（岐阜市文化産業交流センター）5階・中会議室1

定員／100名 参加費／無料



主催／環境省中部地方環境事務所

共催／伊勢湾・三河湾流域再生交流会議、伊勢・三河湾流域ネットワーク

生物多様性流域対話プログラム

12:30 - ● 受付（じゅうろくプラザ5階・中会議室1）

13:00 - ● **COP10（生物多様性条約第10回締約国会議）の成果から**

／環境省中部地方環境事務所

今秋開催のCOP10では、生物多様性保全の国際目標を定めた新戦略目標（愛知目標）が決議されました。COP10の成果と、これを受けた今後の地域での取組の方向性について報告します。

13:30 - ● **私たちの森・里・川・海をもっと知るために**

／伊勢・三河湾流域ネットワーク

伊勢・三河湾流域の森・里・川・海で生じている課題や、生物多様性保全や持続可能な利用に取組む団体等の生の声を知るために、他団体の活動現場に出かけて対話する取組を始めました。この取組のねらいと、これまでの経緯について報告します。

14:00 - ● **伊勢・三河湾流域の保全・再生に向けて**

○揖斐・長良川流域等における取組について

揖斐・長良川流域等で、流域の保全・再生に取り組む団体の活動現場を訪ね、お聞きした活動の光（誇り）や影（苦悩）等の生の声、地域の課題解決のための取組等について報告します。

○全体対話集会

コーディネーター／森と水辺の技術研究会：野村典博 × 生物多様性フォーラム：曾我部行子

私たちのいのちと暮らしを支えてくれる豊かな流域を守り育てていくために、あるいは都市と地域が持続的に存続していくために、まず何から始めるべきでしょうか。皆さんと一緒に考えます。

17:00 ● 閉会

会場案内

じゅうろくプラザ（岐阜市文化産業交流センター）
5階・中会議室1／岐阜市橋本町1丁目10番地11

■当日連絡先／

TEL 090-9540-4747

<交通のご案内>

- ・JR岐阜駅隣接、徒歩約2分
- ・名鉄岐阜駅より徒歩約7分
- ・岐阜各務原I.Cより車約15分
- ・岐阜羽島I.Cより車約20分

お問い合わせ先／

TEL 052-955-2131

環境省中部地方環境事務所 担当：榎（ます）・植田



参加希望の方は、下記に必要事項を記入の上、FAXまたはE-mail（件名に「生物多様性流域対話」参加申込みと明記）にてお申込ください。申込切は、2月18日（金）です。

FAX申込フォーム

「生物多様性流域対話」参加申込書			
氏名		参加人数	名
所属			
住所			
電話番号		メールアドレス	

※ご提供いただきました個人情報はこのプログラムの運営のみに使用し、法律に基づき適正に管理いたします。

参加申込⇒ E-mail: REO-CHUBU@env.go.jp FAX: 052-951-8919 / 中部地方環境事務所